

2007 年度 小委員会活動成果報告

(2008 年 2 月 8 日作成)

小委員会名	磁気環境小委員会	
所属本委員会 (所属運営委員会)	環境工学本委員会(電磁環境運営委員会)	主 査 名:石川 登 就任年月:2007 年 4 月
設 置 期 間	2005 年 4 月 ~ 2009 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	建物の磁気環境に関する現状および将来の課題の調査と整理 建築環境の磁気シールドの用途と要求性能の把握 低周波磁界環境の健康影響に関する調査 建物の磁気環境に関する各種性能測定法および評価法の検討	
委員構成 (委員名(所属))	委員公募の有無:	
	主査:石川 登(清水建設) 幹事:新納敏文(鹿島建設) 委員:岡崎靖雄(岐阜大学) 石塚一男(リクエルテック) 川瀬隆治(東急建設) 山下直文(積水ハウス) 小穴孝夫(電力中央研究所) 竹内信次郎(エテック) 中村裕介(奥村組) 宮崎弘志(大成建設) 山崎健一(電力中央研究所) 伊丹 明(伊丹イ-エム-ラボラトリ) 田代英太(波動システム研究所) 宮川忠明(安藤建設) 齋藤章彦(大同特殊鋼)	
設置 WG (WG 名:目的)	磁気環境評価 WG ・磁気環境計測評価法の標準化検討	
2007 年度予算	69,000 円	ホームページ公開の有無: 委員会 HP アドレス: http://news-sv.aij.or.jp/kankyos4/

項 目	自己評価
委員会開催数	6 回(年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)	
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	当初の活動計画をほぼ達成した。 1. WHO 最終報告書の把握、ならびに最終報告書に対応した国内基準の作成動向を調査した。 2. 標準モデルを用いて、各種の磁気シールドシミュレーションの特性を把握し、適用性の評価を試みた。 3. 磁気環境計測評価法の標準化を検討した。(磁気環境評価 WG)
委員会活動の問題点 ・課題	

* 小委員会活動成果報告書は本書式を基本とする。ただし、それぞれの本委員会において活動実績を報告する共通項目があれば、最下段に項目を追加して記述してもよい。